

I 文化財の保護・保存

文化財は、私たちの祖先が営々と築いてきた文化遺産であり、一旦破損等があれば再現困難なかけがえのないものです。区では、このような文化財の保護・保存を図るとともに、区民が興味や関心を持つことによって、共有の貴重な文化遺産が後の世代に受け継がれていくよう文化財保護意識の高揚を図るため、保護及び活用事業を実施しました。

1 文化財保護審議会

第23期目黒区文化財保護審議会委員の任期満了に伴い、第24期委員の委嘱を行いました。委員の任期は2年で、委員は下表のとおりです。

第24期目黒区文化財保護審議会委員

(令和6年3月31日現在)

氏名	職業又は所属(専門)
折茂 克哉	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館助教(郷土史)
小林 謙一	中央大学文学部教授(考古学)
佐々木 昌孝	ものづくり大学技能工芸学部教授(建築史)
関口 博巨	神奈川大学国際日本学部准教授(日本近世史)
山本 勉	鎌倉国宝館長(日本彫刻史)
吉村 稔子	神田外語大学外国語学部教授(日本絵画史)

※任期は、令和5年6月1日から令和7年5月31日まで 計6人

2 文化財保護事業

目黒区内文化財めぐりを4回、文化財講座を1回実施しました。

区内文化財めぐり

(単位：人)

実施日	コース	見学場所等	参加者
5月13日	中目黒周辺	めぐろ歴史資料館(富士塚に関する講義を含む。)	13
6月10日	駒場周辺	東京大学駒場キャンパス、旧前田家本邸	27
10月14日	八雲周辺	東光寺、氷川神社、九品仏川緑道ほか	20
11月11日	下目黒周辺	大圓寺、蟠龍寺、成就院、瀧泉寺ほか	23
計			83

文化財講座「聞いて、見て、触る、目黒の歴史～近年の区内発掘調査から」

実施日	内容	参加者
12月16日	近年の区内発掘調査についての講座と縄文土器等出土遺物の紹介	11

3 区指定文化財

令和5年度に新たに区指定文化財として指定したものはありませんでした。

4 埋蔵文化財発掘調査

令和 5 年度は、区が実施した調査として立会調査 45 件、試掘調査 12 件、3次元（3D）測量調査 1 件、本格調査 2 件、及び整理調査 3 件を実施しました。

本格調査の実施地点は、新規に発見された下目黒東遺跡 1 件及び茶屋坂遺跡 1 件（B 地点）であり、下目黒東遺跡からは縄文時代中期の竪穴住居跡 3 軒と住居状遺構 1 軒が検出されました。茶屋坂遺跡（B 地点）からは近代に作られた方台形煉瓦遺構 1 基と隣接して溝状煉瓦遺構 2 基、さらに小規模な煉瓦遺構 1 基が検出されました。なお、茶屋坂遺跡（A 地点）からは近代のものと考えられる階段状煙突煉瓦遺構 1 基、トンネル状煉瓦遺構等が検出されたことから、3次元（3D）測量調査を実施しました。